



スイスのアッペンツェル州、クロンベルク山中腹に立つヤコブ・チャペル



ミッション・宣教の声 主幹
黒田 禎一郎

肩書き抜きの自分

モーセという人は地上のだれにもまさって非常に謙遜であった。
新共同訳 民数記12・3

こんな話を耳にしました。ある人が退職した後、もとの職場を訪ねました。ところが、昔の同僚や部下の目線は冷たいものでした。どうも在職中、心からの尊敬を受けてはいなかったようでした。彼の部下は、所長とか、部長とか、社長といった「肩書き」に頭を下げていたにすぎませんでした。世の中では、このような話はよくあります。また、これはドイツの日本人社会であったことですが、バブル崩壊後のことでした。かなり多くの日本の会社は後片付けし、ドイツ支店を閉鎖しました。その時、ある会社の所長は部下の従業員の最後の一人まで、次の就職先職まで紹介確認して世話をされました。最後に一人残った所長は、残務整理をきちんとして帰国されました。空港には大勢の人たちが見送りに来て、所長を惜しみ見送りました。たちまち、このエピソードは日本人社会に伝わりました。どこに違いがあるのでしょうか。大事なのは、その人自身です。

ユダヤ民族解放の指導者モーセの肩書きは、「主のしもべ」でした。しかも聖書は「地上のだれにもまさって非常に謙遜であった。」と記録しています。真のリーダーは、強いだけでなく謙遜で優しさを持っています。イエスの肩書きもまた、「ナザレ

人」でした。肩書きとして無いに等しいものでした。当時はナザレ村からなんの良いものが出るだろうか、と言われるほどでした。しかもイエスは、一番低いところを歩み、限りなく優しくられました。「キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。」(ピリピ2:6-7)。イエスも「人の子も、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのです。」(マルコ10:45)と言われました。それゆえイエスは世界の王とされました。問題は中身です。肩書き抜きの自分が本当の自分の値打ちです。

キリスト・イエスにある教会での真の交わりは、「肩書き抜き」で通せるものです。本当にありがたい、嬉しいことです。そして癒されますね。肩書き抜きで交われる器こそ、キリスト者ではないでしょうか。今月も聖書を通してイエス・キリストを仰ぎ、主イエスに倣い歩もうではありませんか。

コロナ禍の海外邦人宣教15

オセアニア在住邦人宣教

クローズネスト日本人キリスト教会 牧師
吹留 弘充

「ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。」コロサイ3:17

2022年1月14~16日、Covid-19のオミクロン株が猛威を振るう中、2泊3日の教会キャンプが持たれました。テーマは「感謝しなさい」でした。苦難の中にも、感謝を数え、感謝を忘れない歩みをしよう。なぜなら感謝は自分を変え、周りを変え、状況を変えてくれるから。しかし、とても感謝できないような状況にある中、どうしたら感謝できるのか。それは「主イエスによって」です。どんなことも、「主イエスの名において」まず祈り、「主イエスの名において」語り、行うなら、感謝に溢れる者となることができる、キャンプでは、そう確認し合いました。人間的な思いでは、不安に負けてしまいそうですが、コロナ禍にも感謝ができたキャンプは、神様の導きでした。

コロナ禍のオーストラリア

去年の11月頃まで、Covid-19に関して、オーストラリア政府は、人々に厳しい規制を強いてきました。ロックダウンの時だけでなく、解除後もどこに行こうとQRコード、マスク着用、手の消毒、ソーシャルディスタンスが求められ、ある店で感染者が出たとすると、濃厚接触者は2週間の自宅隔離が義務付けられました。私もたまたま行ったレストランで、感染者がいたらしく、2週間散歩もできず、毎日家に居るかどうかが、確認の電話がかかってくる、ということを経験しました。実に厳しいルールはありましたが、仕事ができない人々への金銭的サポートはしっかりとなされ、国の政策を讃える人々は多かったのです。しかし、去年のクリスマス以降、ワクチン接種者が90%を超えると、オミクロン株の爆発的な感染にもかかわらず、規制が緩くなってきて、一応注意は払いつつも、検査も隔離も本人の判断に任せるようになってきました。以前はオンライン礼拝だけの時が、かなり長い間続いたのですが、最近では教会に集ま



キャンプでのグループ・スタディー

れる人は集まり、そうでない人はZoomで礼拝に参加しています。Zoomは他の地域や、日本からも共に礼拝することを可能にしてくれました。

早天祈禱会

ロックダウン等で思うように会えない中にあった私たちは、昨年7月から早朝5時より40日間のZoom早天祈禱会を持ちました。みことばが読まれ、祈りの課題がシェアされ、時に涙を流しながら祈る祈りに、心が一つになりました。朝毎に新しい恵みを頂き、コロナ禍にあっても、それぞれが必要とされる場所に、主が遣わして下さる喜びに満たされました。40日が終わっても、まだ暗いうちに祈り始め、いつの間にか明け染めて行く朝の恵みを忘れられない人々によって、今日に早天祈禱会は定期的に持たれています。Zoomの祈り会は、音声だけでも充分です。祈りは目に見えないお方に捧げるものだからです。早朝だからその方が都合のいい人々もいたようです。

オセアニア邦人宣教のため

コロナ禍で、少し減少していますが、オーストラリアには約9万7千人、ニュー

ジーランドには約2万8千人の日本人がいます。私たちの教会のあるシドニーには約2万7千人の日本人がいるとされています。一つの教会だけでは、これらのオセアニア在住邦人に宣教するには限界がありますが、オセアニアにある日本人教会がまとまれば、大きな働きができるでしょう。その萌芽であったJ²ANZ(ジャンズ)カンファレンスは、コロナ禍のため開催できませんでした。しかし感染者の少なかったニュージーランドでは、去年の7月に、いくつかの日本人教会が集まり、カンファレンスが開かれ、主の恵みに満たされたそうです。やはり、教団を越えて、ともに証しし合い、励まし合うところに、キリスト者は使命を新たにされ、成長させていただくでしょう

コロナ禍で、私たちは、自分の教会を守るのが精一杯でした。昨年、何とか4名の洗礼者が与えられたことで納得しているようなところがありました。しかし、私たちは、暮らしやすいこのオセアニアにも、霊的に弱り果てて倒れている日本人が大勢いることを知っています。「収穫は多いが、働き手が少ない」と言われた主イエスは、働き手のために祈るように求めておられます。働き手のために祈る人は、いつしか自分を用いてくださいと祈ることでしよう。祈りつつ、対面でもオンラインでもシンプルに福音を伝えていきたいです。福音には爆発的な力があるからです。それはオミクロンの比ではありません。初めであり、終わりである方は、デルタやオミクロンの先に、もうすでに終息を意味するオメガを用意しておられます。主によって父なる神に感謝致します。(つづく)



クローズネスト日本人キリスト教会の兄弟姉妹

伝道、プレゼントにもおすすめです。

聖書の集い・連続メッセージ
「讚美歌詩・聖歌詩の背景から学ぶ信仰」

第1巻～第8巻 刊行

多くの人たちに親しまれている讚美歌詩・聖歌詩の背景にある作詞者の信仰に焦点をあてる励ましのメッセージ集です。

中綴じB6サイズ ¥500 (税別)

ご注文は「ミッション・宣教の声」事務局まで。

その時、わがたましいは歌う
主幹 黒田 禎一郎

海外伝道シリーズ 旧東ヨーロッパの 教会と信者は今

166

ベラルーシ
黒田 禎一郎

「彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。」

ヨハネ黙示録黙 21:4

コロナ・パンデミックは東ヨーロッパの国々にも非常に勢いで拡散していますが、ベラルーシ(白ロシア)も例外ではありません。ニコライ・リシェク伝道師はコロナ禍の中、ベラルーシの孤児や未亡人に重荷が与えられ、貧しい人々に仕えています。彼は失われた魂を求めて、キリストの愛を宣べ伝えています。ここにニコライ伝道師の宣教活動をお伝えします。

主が重荷を負ってくださる

ニコライ伝道師には持病の椎間板ヘルニアがあるため、背中に強い痛みが走りますが、主の働きをするために必要な力が与えられています。彼は主がその痛みを担ってくださることに感謝しています。とくに背中中の痛みは夜間に起こることが多く、それでも支えられていると語っています。冬場は身体的に辛い時期ですが、神は恵みの内に必要な力を備えてくださいます。しかし夏場は身体的にはるかにしのぎやすいので、霊的にもキリストの愛を伝えるために活発に動ける時期です。

子どもバイブル・キャンプ

昨年7月、ニコライ伝道師と教会は「子どもバイブル・キャンプ」を2度開くことができました。共通テーマは「命を選びなさい」でした。第一部のキャンプには42人の子どもたち(一部はクリスチャン家庭の子どもたち)が参加し、たいへん恵まれました。子どもたちは大いに喜び、そしてキャンプ生活を楽しみ、主の祝福が豊かに注がれました。そして続いて開かれた第二部のキャンプは、孤児と社会的に恵

まれない子どもたちを対象としたキャンプでした。こちらのキャンプも神から多くの祝福をいただきました。背後に多数の方がたの祈りと物的支援があったことにも感謝しています。



子どもキャンプに参加した子どもたち

未亡人伝道

一連の「子どもキャンプ」が終わった後には、ニコライ伝道師は特別礼拝を開きました。この礼拝は不幸にも配偶者を失った女性たちにフォーカスをあてると、同時に信者にも大切な礼拝でした。それはキリストにある聖徒は未亡人を忘れることがないよう、彼らへの「思いやりの心」を失わないよう励ますものでした。ニコライ伝道師は人口約1万7千人の町イヴァノオにある教会で仕えています。ここは会員数8人という小さな教会です。町の近隣には小さな村々があり、そこでも彼は定期的に家庭集会を開き伝道しています。彼は今この働きのために、協力者を求めています。とくに高齢者となった未亡人は、自力で身の周りのことができません。ベラルーシでは西側の国々のように高齢者用施設がまだ整っていないだけに、キリスト教会がその重荷を担っています。この働きの民にも是非お祈りをお願いします。



イヴァノオの教会から出る
ニコライ・リシェク伝道師と女性たち

この地域では、多くの女性が畑仕事をしていますが、高齢女性が軽トラクター

を操縦し、畑を耕すことは決して簡単ではありません。そこである時、ニコライ伝道師は自分の古いトラクターを持ち込みましたが、どうしたことかうまく作動しませんでした。彼らには新しいトラクターを購入する余裕もありません。しかし、畑を耕さなければ作物を入手できません。ベラルーシでは経済的貧困のため、まだまだ多数の人々が生きるために必死の戦いを続けています。国家は政治的不安定の中で今大きく揺れ動いています。どうぞ、ベラルーシの小さな働きを覚えて、お祈りに覚えてください。



トラクターを操作する高齢の女性

お祈りください

シベリア・バプテスト教会のミハイル・トルプチック伝道師は、シベリアの大地を数千キロも走り、キリストの福音を宣べ伝えてきました。しかし彼は今回コロナに感染しました。彼にはパーキンソン氏病のような基礎疾患があり、一時は体重が13kgも落ちてしまいました。手足の震えと痺れが起り、夜も安眠できない状態です。食事を取るときには、手指が震えるためスプーンやコップを握ることが困難です。カンスク市にある病院神経科の診察では、正確な診断と治療が分からない状態のようで、ミハイル伝道師は現在投薬治療を受けています。今後彼には大病院での精密検査と治療が必要とされていますが、彼の置かれた現状は非常に困難です。神の特別な加護と癒しが実現しますように、どうぞ祈り覚えてください。



ミハイル・トルプチック伝道師

何よりもみことばを慕う

私たちが日々読む聖書は、父なる神が愛する子どもたちに今日、語りたと思っておられる愛のことばで溢れています。みことばは、私たちに励ましや慰め、また様々な訓戒や知恵を与えてくれます。みことばには不思議な力があり、それはどんな偉人の言葉よりも権威があり、人の魂を強烈に揺さぶります。たとえ、私たちキリスト者が神のみことばゆえに、どんなに犠牲を払おうとも、みことばは全てにおいて逸脱することなく、私たちを決して裏切ることはありません。

みことばの息

「私が北朝鮮でイエス様に出会っていたら、決して脱北はしなかっただろう。」と。大韓民国に入国してから、イエス様に出会った脱北者たちが口を揃えて、このように証言しています。大量餓死を避けて中国に脱出し、そこでイエス様と人格的に出会った人々の中には、福音を抱いて再び死線を越え、帰るはずのなかった祖国に戻っていく人々もいます。故郷に一冊の聖書さえ、持ち帰ることができないため、彼らは祖国に戻るまで昼夜を問わず、聖霊の助けによって聖書を学び、みことばを暗記します。みことばで自分を埋め尽くし、まるで全身が聖書ようになって祖国に帰ります。何ひとつ持って帰ることができなくても、最も価値ある宝を飲み込んだまま故郷に舞い戻ると、みことばの息を全身全霊で吐き出すかのように、北朝鮮の地で神の愛を語っています。

母親たちの信仰の種子

60代の男性チョン・グァンの母親はキリスト者で、彼女は1945年以前に、北朝鮮清津市にある教会の日曜学校に通っていました。チョンも母親から信仰を受け継いでいましたが、1998年に脱北した中国で、彼はイエス様と人格的に出会いました。チョンは祖国に福音を伝えたくて、故郷へ引き返すことにしました。彼はキリストへの信仰を抱き帰ったものの、聖書を手に持ち帰ることはできませんでした。

チョンは中国から戻ると、清津市から離れた別の町に住み、ある日、彼はパク・ガンホという男性に出会いました。それは奇跡的な出会いで、パクの母親はチョンの母親が通っていた、日曜学校と同じ教会で執事をしていたということでした。

二人は神が引き合わせて下さった、この出会いを喜びました。彼らは母親たちの話から始まり、両手を取り合って祈り合い、友情を育みました。けれども、母親たちが金政権以前にキリスト教会に通っていたことが、もし発覚すると、政治犯収容所に収監されるため、この二人が友情を持ち続けることは危険なことでした。ある時、神のみことばに飢え渴いていたチョンに、パクは毛羽立った黒い表紙の1冊の本をそと取り出し、彼に見せました。それは昔の筆跡で記された聖書でした。

灰の聖書

その聖書はパク・ガンホにとって、決して忘れることのできない、母の姿を鮮明に思い起こさせるものでした。1970年の秋のある日、その頃の北朝鮮のキリスト者たちは、金政権により既に厳しい弾圧下におかれていました。かつて教会の執事として仕えていたパクの母親は、幼い息子の手首をぎゅっと握り、彼を外へ連れ出しました。家の門前の菜園に植えた、背丈の高いとうもろこし畑に入って行きました。母の手には、小さな赤い包みとマッチが握られていました。とうもろこし畑の真ん中まで来ると、母は両手を合わせて、天に向かって祈りました。そして、赤い包みを開き、そこには2冊の黒い本が積み重なっていました。母は幼い息子の目を見つめ、その小さな両手を力いっぱい握り締めて言いました。「これは、あなたの生命より大事な神様からのおことばなのよ。だから今は誰にも見つからないように、ここに埋めて大事にしまっておきましょう。あなたが大きくなったら、このみことばを蓄えて生きなさい。そして、必ず天国で会いましょう。」

幼い彼は訳もわからず、ただうなずき、その本を胸に抱きました。そして、母はマッチを擦って、残りの1冊を燃やしました。燃えた聖書の煙は、空高く登り、二人はそれを見つめていました。やがて燃え尽きて、聖書は灰となりました。すると母はその残った灰を全て拾い集め、自分の口に含み、灰の全てを飲み込んでしまいました。一見、狂気とも見える母の姿でしたが、聖書の発覚を避けるため神のみことばを燃やすしかなく、せめてもの、大事なみことばを体内にしまっておきたいと願ったのでしょう。何よりも大事にしていた聖書を、灰にしなければならなかった母は、どんなに切なくて、辛かったことで

しょうか。

みことばを慕い求めて

パクが取り出したその聖書は、母が死守して埋めたもう1冊でした。みことばに飢え渴いていたチョンにとって、パクの母が残してくれた聖書は、砂漠に湧き出る水のように思えました。それからというもの、党员でもあったチョンは年に2回、党組織と会社それぞれに口実を用いて時間を作り、約1,000kmの道のりを1週間かけてパクのもとを訪ねました。チョンの目的は、あの古くて毛羽立った、黒い表紙の聖書を読みしたためることでした。チョンはその聖書から、神のみことばを心に蓄えて生気を満たし、また長い道のりを帰っていきました。危険を犯してでも、みことばを慕い求め続けていたチョンにとっては、その長旅でさえかけがえない至福の時でした。やがてチョンは、地下教会で礼拝中に公安に連行され、政治犯収容所に収監されていきました。キリスト・イエスの囚人として。

神のみことば、聖書がいつも私たちの近くにあることは、どんなに恵まれていることでしょうか。迫害地で生きる多くのキリスト者たちは、その手で聖書を開くことをどんなに切望していることでしょうか。このみことばに触れるため、生命を賭けなければならない兄弟姉妹たちがいることを、私たちは知らなければなりません。そんな彼らに思いを馳せながら、聖書のページをめくるたび、その当たり前でない奇跡に、私たちの心はどんなに感謝で溢れることでしょうか。

「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。」(1ペテロ2:2)

- 聖書が北朝鮮全土に渡り、行き届くようお祈り下さい。
 - チョン・グァン兄弟や約23万人以上の国民を収監している政治犯収容所が解体されるようお祈り下さい。
- (名前は一部仮名です)(次号につづく)



清津市の製鉄所正門



チベット

アジア各地では2月に旧正月を祝う国々は多くありますが、チベット国もその一つです。チベットでは2月2日から17日まで新年を祝うのを機に、世界中にいる約5億5千万人の仏教徒の救いのために祈る運動が行われました。テーマは「世界の仏教徒のために15日間祈ろう」でした。コロナ禍の中でも、チベットの仏教徒たちは誕生や結婚を祝い、また死者を見送る葬儀を仏教の教えに従って行っています。この「とりなしの祈り」運動は世界宣教にかかわる多くの宣教会が参加し、仏教徒たちの魂の救いを祈りました。

フランス

フランスのジェラルド・ダルマニン内務大臣は、教会堂の破壊行為から守ることを強化すると発表しました。1月13日、パリ郊外のロマンビレにあるカトリック教の聖ゲルメイン・アウケスコ教会を訪れた大臣は、フランスでは毎日のように教会堂の破壊行為が起こっていると語りました。インターネット通信「フランス・インフォ」によれば、大臣は400万ユーロを出しビデオ録画装置を備えて、会堂を破壊行為から守るとのことです。パリの衛星都市であるセーヌサンドニでは、今年に入ってから、すでに何件もの教会堂の破壊行為が発生しました。聖ゲルメイン・アウケスコ教会は、2019年のパリのノートルダム大聖堂の火災後、パリ教区の仮の司教教会として用いられています。国内にある約4万5,000のカトリック教会堂のうち、平均して1日に2会堂が破壊行為の被害を受けています。お祈りください。

パキスタン

2012年以来、投獄されていたツアファール・バツィー牧師は、1月3日ラウルピンディ地方裁判所で死刑判決が宣告されました。カトリック教ニュース・エイジェント「フィデス」によれば、58歳のバツィー牧師は、アラールの神を冒瀆する文書を送ったとみなされていました。バツィー牧師は2017年5月、預言者モハメッドと彼の母親に対する冒瀆罪によって、終身刑の判決を受けていました。バツィー牧師は2012年に、「ジーザス・ワールド・ミッション」を設立し、家の教会を始めて当局からマークされていました。パキスタンでは、冒瀆罪によって彼ほど長期にわたり拘束を受けた人は他にいません。キリスト教人権活動家であるイリアス・ザムエル氏は、「冒瀆罪の乱用を拡散させ、無罪の人に罪を課していることを非常に遺憾に思う。」と訴えています。国際人権委員会(IGFM)とキリスト教出版社「アイデア」は、2014年にバツィー牧師の釈放を訴えていました。

またパキスタン人でキリスト教のナデーム・サムソン氏は、バツィー牧師は死の危険にさらされていると、米国に住む兄弟が「インターナショナル・ポスト」に語りました。そして西側に



ラホールで礼拝に参加するキリスト教徒

亡命するよう呼びかけています。サムソン氏も1月5日に逮捕され4年の刑を言い渡されましたが、保証金を払い釈放されました。彼がはじめに逮捕されたのは2017年11月で、理由はフェイスブックの偽造と冒瀆罪でした。このような状況下で、クリスチャンがパキスタンに留まることは非常に危険が伴うことであります。人口約2億1千600万人の95%はムスリムで、キリスト教徒とヒンズー教徒はそれぞれ2%です。どうぞ、お祈りください。

英国

トランスジェンダーの性別を、どのように区別するかは今では世界的に問題となっていますが、この度英国とウェールズの25の女子校がトランスジェンダーの女子(生物学的には男子であるが、女子と識別されている人)の入学願書受付を拒否しました。これはインターナショナル・クリスチャン・ポストの報道です。これらの学校は誕生証明書に記載されている性別を、現在のところ識別するガイドラインとしました。自分で性別の転換を希望するのは、論外であるという決定です。もしそれに反する主張があるならば、女子校としての法的地位が問われることになると学校側は語っています。トランスジェンダーの問題は決して小さなことではありません。どうぞお祈りください。

米国

ニュージャージー州では、妊娠中絶を時間制限なしで許可されるようになりました。この堕胎法案は1月10日、州議会議員の過半数の賛同を得て通過しました。民主党のフィル・マーフィー知事は、1月第2週から有効とすると発表しました。ニュージャージー州はこのような法案が認可された州としては、米国内で4番目の州となりました。その結果、妊婦は出産日まで堕胎することが合法的に認められることになりました。当然ながら、この新法案に対して鋭い批判が、州内のカトリック教会から出ています。どうぞ、お祈りください。

カザフスタン

政治混乱が続くカザフスタンで、1月をはじめ大きな事件が起こりました。それはオーソドック教会がクリスマスを迎える時期でした。多くの国民が自動車燃料として使う液化石油ガス(LPG)が2倍に値上がりしたのを背景に、国内各地で大規模な反政府デモが発生しました。カシム・ジョマルト・トカエフ大統領は5日、国营テレビの演説で、ロシア主導の軍事同盟の集団安全保障条約機構(CSTO)に、抗議行動の鎮圧に向けた支援を要請しました。CSTOはロシア、カザフスタン、ベラルーシ、タジキスタン、アルメニアの各国で構成しています。

CSTOの介入によって反政府デモはさらに激しさを増し、大統領官邸も焼けてしまいました。このような混乱下で、国内のすべての教会の聖日礼拝は禁止となり、160人の死者と約8,000人の負傷者が出てしまいました。カザフスタン・ルター派教会総監督のユーリー・ノヴゴロドフ牧師は、カザフスタンの平和のために、西側の教会とキリスト教に「とりなしの祈り」を要請しています。どうぞ、お祈りください。



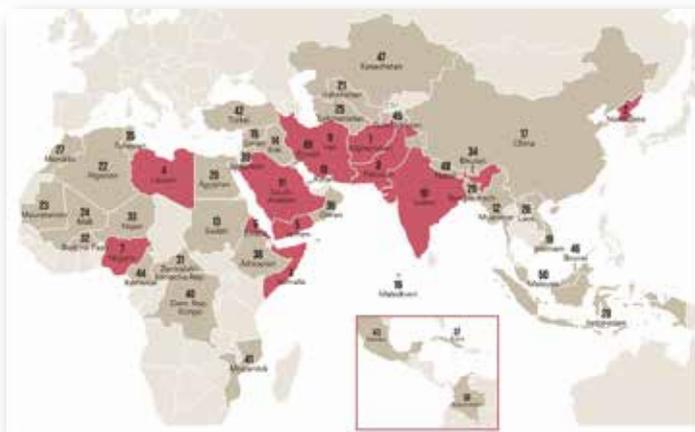
ユーリー・ノヴゴロドフ牧師

アフガニスタン

1月19日、国際宣教団体「オープン・ドアーズ」(OD)は世界でキリスト信仰のために迫害が起こっている国、第1位にアフガニスタンを上げました。ODは毎年世界の迫害状態ワースト50カ国を上げ、世界中の人々に迫害の実態を伝えてきました。2002年以来、北朝鮮は世界第1位の迫害がある国でしたが、アフガニスタンの現状はそれを上回るものとなりました。今日の世界でも、約3億6,000万人のクリスチャンが迫害と差別を受けています。

アフガニスタンでは昨年8月15日に政権を握って以来、状況がさらに悪化しています。クリスチャンは、ムスリムへの改宗を強制的に強いられています。タリバンはクリスチャンの改宗を目標とし、暴力によってイスラム教信者とさせようとし、各地で恐ろしい悲惨な事件が起こっています。改宗に応じない者は乱暴され殺害されています。タリバンは携帯電話から、家族、友人、隣人の通信履歴をチェックし、クリスチャンを必死に探し出しています。したがって、クリスチャンたちの多くは携帯電話を保持していません。タリバン政権下で許可されたキリスト教会は存在していません。ODが入手している唯一の情報は、カブールにあるイタリア大使館地下室にある教会です。現在、アフガニスタンにクリスチャンが何人いるかは全く不明です。ODは数千人と推察していますが。

アフガニスタン、北朝鮮に次いで迫害度が高い国はソマリア、リビア、イエメン、エリトリア、ナイジェリア、パキスタン、イラン、インド、サウジアラビアの順の11カ国です。どうぞ、迫害と差別の苦難下にあるクリスチャンを祈り覚えてください。



迫害度を示す世界の国々

インドネシア

イスラム教国インドネシアでは、クリスチャンへの迫害が

徐々に増し加わってきました。ODの迫害度ランキングでは、これまで47位であったインドネシアはこの度28位に浮上しました。約6,000の島々の全てではありませんが、傾向としては厳しさが増大してきました。一般的に言えることは、ムスリムの多くは保守的であることです。それは彼らが着る服装にも表れていますが、その背後にはイスラム教の教え(法規)が深く浸透しています。それに「シャリア銀行」(イスラム教の銀行)の存在も大きいと思われます。ビジネスや住居購入などで銀行の必要は、住民にとって小さくはありません。

それに加えてサウジアラビアの影響も増大してきました。サウジのイスラム教スンニー派はミッション・スクールを建て、首都ジャカルタでは大学も建設しました。イスラム教勢力が増す国内で、キリスト教会やクリスチャンへの迫害は強まっています。2020年11月に4人、2021年5月にも4人のクリスチャンが、中部の「東インドネシア・ムヤヒデー」(MIT)との闘いで死亡しました。いつでも少数派は力弱く、学校でもムスリムへの改宗と女子は頭の「被り物」が強いられるようになりました。キリスト教会の会堂建設許可を入手するには非常に時間がかかり、あるカトリック教会は建築許可が降りるまでに40年もかかりました。西ジャワ島やアチェ州では、イスラム教が政治的にも社会的にも力を保持していますので、「シャリア」(イスラム法規)の影響はクリスチャンにも及んでいます。ムスリムへの改宗をはじめとして、さまざまな圧力がかかってきました。人口約2億7,200万人の内、79.5%がムスリム、クリスチャンは12.2%、仏教徒は2.1%です。どうぞ、お祈りください。



2021年3月28日、マッカサールの教会堂が襲撃され20人が負傷し、会堂が破壊された

ドイツ

世界中でコロナ禍が蔓延する中、クリスチャンであり、医師であり、作家であり、音楽家でもあるヴィッツェン・ヘルデッケ大学のアーノルド・ビュージング教授は、クリスチャはこの時期どのように過ごすべきか提案しています。まず心鎮める音楽や読書、そしてオゾン豊かな自然界を歩くことを推奨しています。そして日々規則正しい生活リズムを確保し、主との交わりと短い休息の時間を確保すること。さらに大切なことは感謝の心を失わないことであると、語っています。



ミッション・宣教の声 *The Voice of Mission*

〒541-0041 大阪市中央区北浜 2-3-10 V I P 関西センター 5F
TEL:06-6226-1334 FAX:06-6226-1336
E-mail: senkyo@vomj.jp http://vomj.jp/

発行人 黒田禎一郎
年間購読料 ¥2,500(送料込)

郵便振替口座 00940-3-301623
銀行口座 三菱UFJ銀行 堺東支店(店番205)
普通口座 3623132「ミッション宣教の声」

The Voice of Mission
MUFG Bank, Ltd. Sakaihigashi Branch
Bank account No.3623132 SWIFT CODE : BOTKJPJT
Bank Address : 59-2 Mikunigaoka-Miyukidoori, Sakai-ku,
Sakai-shi, Osaka-fu 590-0028 JAPAN TEL:81-72-221-3041



編集後記



- 3月に入り、南の方ではもう春が近づいてきたことと察します。しかし新型オミクロン株との戦いは続いていると思われます。皆様もどうぞお体を大切にしてください。
- 海外邦人宣教レポートは、今号よりオセアニアでの宣教が始まりました。コロナ禍の中でも、海外の邦人教会を通してキリストの福音が広く宣べ伝えられますようお祈りください。
- 小冊子「その時、わが魂は歌う」(9) イースター特集号がまもなく出版されます。お問い合わせはミッション・事務局までどうぞ。皆様のお祈りと支援に感謝します。